



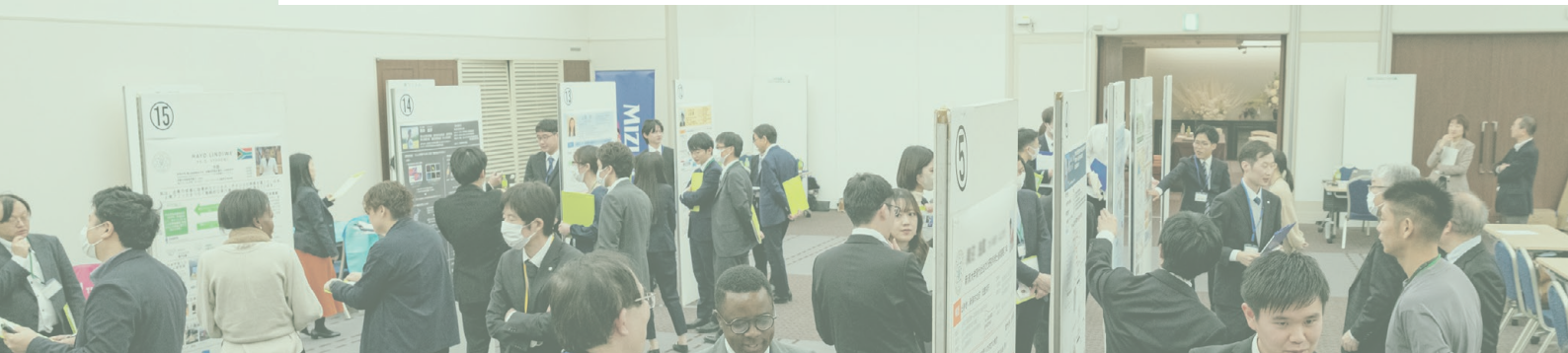
キャリア
これからの自分を創る!

CAREER PATH GUIDE

大学院生のためのキャリアパスガイド 2024



新潟大学 大学院教育支援機構 PhDリクルート室

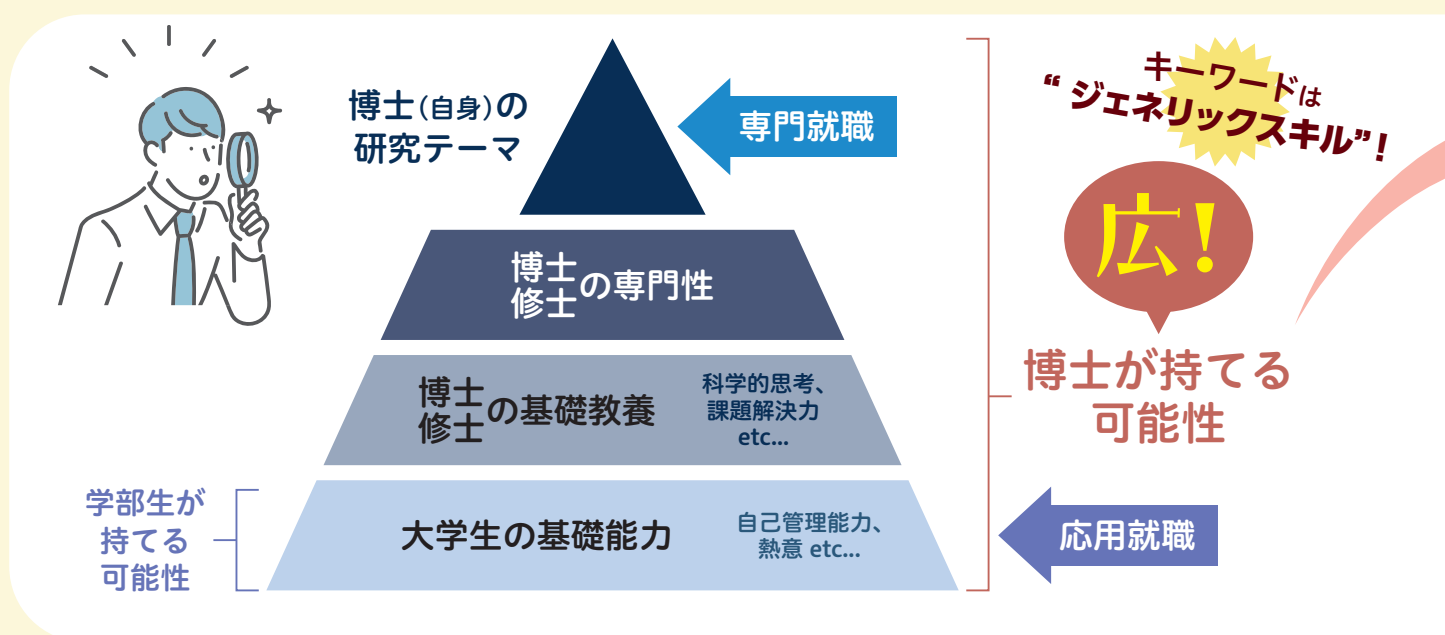


これからのキャリアを考えていますか？ 今、世の中で「博士」が求められています！

未来予測が難しい今、企業の発展・成長を担う事業企画、研究企画、先端研究分野は非常に重要になっています。これを担い世界で通用する高度な専門人材が博士であり、その存在は必要性を増しています。博士を採用した企業では、採用後「能力・資質が期待を上回った」と回答する割合が学士・修士よりも高いというアンケート結果が出ています。

博士後期課程の学生は、研究に打ち込む時間を十分に確保しながら、将来の挑戦に踏み出せるようにキャリア形成についても自ら考えていかなければなりません。新潟大学では、アカデミアでも産業界でも必要な研究力・ジェネリックスキルを身に付けることのできるセミナーや、キャリア面談などのサポート体制が整っています。キャリア形成の第一歩として、このパンフレットをぜひご覧ください。

出典：文部科学省科学技術・学術政策研究所「民間企業の研究活動に関する調査報告2020」2021年6月



M1・M2の方

将来の見極め

現在のキャリアプランに関わらず、グローバル化する産業界の動向等、社会における博士という学位の重要性をしっかりと情報収集して認識を高めましょう！博士取得後の進路は大学教員だけではなく、産業界や省庁においても高度人材としての活躍が期待されています。

D1・D2の方

積極的な活動

D1の期間を利用してジェネリックスキルを高め、企業や各機関との接点を深めることで自身のキャリアパスを広げることができます。企業就職を目指す場合は、D2の期間は就職活動のメインの時期にあたります。積極的に産業界との接点を作り、相互理解を深めましょう。

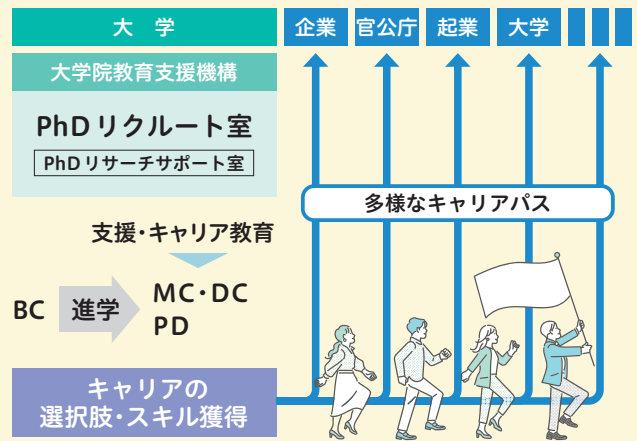
D3・D4・PDの方

可能性の追求

博士人材のニーズは高く、チャンスはまだ多くあります。焦らずに企業や人との接点を広げ深めましょう。セミナーへの参加や、他分野や博士学生同士の交流の機会も活かし、情報を集めましょう。選択を悩む際は、PhDリクルート室にご相談ください。

PhDリクルート室での支援

どんな場面でも専門知識や研究能力を発揮するための“ジェネリックスキル”が獲得できるセミナーを開催しています。また、企業や研究機関との接点を作る参加型マッチングイベント「PhDリクルートフォーラム」やインターンシップなどの機会も提供しています。これらの支援により、博士学生のキャリア形成を後押しするのが当室の役割です。2022年度にはPhDリサーチサポート室が充足し、研究力の推進等についてもサポート体制が充実してきました。これらのプログラムの多くは、教職員の皆様も受講可能です！



ジェネリックスキルとは？

トランスファラブル・スキル（転移可能な能力）とも呼ばれる「分野に関わらずさまざまな状況のもとで適用できる高次の能力」のことで、現在では世界的に求められる能力になってきています。将来の予測が困難な現代、博士課程で専門力だけではなく様々なチカラを身に付けていきましょう！

ジェネリックスキル

リテラシー

情報収集力
課題発見・解決力
批判的思考力

コンピテンシー

コミュニケーション力
リーダーシップ
創造性 自立性
柔軟性 タスク管理
自己管理能力

総合的判断力
豊かな人間性
高い知性

多様な未来へ！

学び



社会の事例や先輩の経験を
まずは知りたい！

キャリア形成
について学ぼう

p4

キャリアマネジメントセミナー

p5

博士のためのキャリアセミナー



研究や生活を
充実させたい！

研究室や大学を
飛び出そう



どんな場面でも使える
スキルを身に付けたい！

演習や相談で
自分のものにしよう

p6

ジェネリックスキルセミナー

p7

キャリア相談

p11

博士人材育成コンソーシアム
連携活動

p12

博士支援制度

p14

大学院生間の交流促進

実践



自分のキャリア
選択をしたい！

産業界や研究機関
の実際を見よう

p8

PhDリクルートフォーラム

p10

企業研究サイトビジット

p10

ジョブ型研究インターンシップ・
インターンシップ

●...M1・M2 ●...D1・D2
●...D3・D4・PD

まずはキャリア形成や
社会事例を知ろう

キャリアマネジメントセミナー

博士後期課程学生（DC）や博士研究員（PD）の皆さん、そして博士前期課程学生（MC）の方々は大学院や研究室で専門知識を身に付け、研究スキルを磨いていると思います。実は、その深掘りの専門性だけでは世の中に求められる人材になるのは難しいのです。

大学院での研究は基本的に一人で実施することが多いのに対して、企業での研究や開発はほとんどがチームで進みます。そのため、仕事を成果につなげていくためには、**リーダーシップやアントレプレナーシップなど研究以外の知識やスキルが必要です**。また、企業の研究成果は学術誌への論文発表よりも**知的財産権（特許権など）の獲得が優先**されます。

このように現在の研究室とこれから皆さんが活躍する社会では手段・手法・優先順位が異なるため、研究以外の知識やスキルも皆さん自身で身に付けていく必要があります。当室ではこのような知識の獲得をお手伝いします。

2024年度は右の15コマを実施します！

※対象：MC、DC、PD（BC希望者は聴講可能 ※単位取得不可）
※講演の順序は変更になる場合があります。
※詳細はシラバスをご覧ください。

新潟大学PhDリクルート室 2024年度講義

キャリアマネジメントセミナー

1 企業の種類と分析 製造、流通には7種類の特許権と企業がある！ 弥富 洋子 新潟大学PhDリクルート室 特別助産	2 リーダーシップ 誰もが必要。リーダーシップ 板倉 朋宏 国家資格キャリアコンサルタント （企業人事課助産）
3 知的財産マネジメント 企業特許の基礎、知財特許マネジメント 藤村 朋子 サントリーホールディングス 知財特許課助産	4 イノベーション イノベーションって何？イノベーションを創出すとは？ 宗像 基治 メルセデスベンツ 開発/イノベーション/イノベーション推進課助産
5 キャリア構築 博士のキャリア構築 伊勢田 一也 株式会社 開発/研究 助産	6 研究者のためのビジネスマナー 本職しリーダーシップを7印像アップ助産 高原 温子 M.P. PLANNING. 代表助産
7 アントレプレナーシップ 企業を創出すとは、スタートアップとはどういうこと？ 山下 良一 代表	8 新ビジネス創出事例 博士課程に在籍しながら起業する！ 岩田 君彦 加賀建設助産
9 企業の経営理念と事業戦略 経営理念の基礎、M&Aのケーススタディ 貞弘 滋 （日本電産（株））コーポレート事業戦略部 新潟大学PhDリクルート室/キャリアセンター	10 技術と事業① 製薬 人生の中での特産、何を専攻して得意になるか 西藤 徹 株式会社 代表助産
11 技術と事業② 飲料 100年続く3つのブランドを完成させる“喝職と革新” 安部 寛 アサヒ飲料 取締役兼執行役員 研究開発部助産	12 技術と事業③ 情報・AI デジタル時代の最先端AI 行木 陽子 中央大学 特任助産 先立総合情報助産
13 技術と事業④ 建設機械 世界に通用する技術を生み出し、世界を相手に勝負する 出浦 淑枝 コマツ 執行役員 ササノバアジア建設本部助産	14 技術と事業⑤ 鉄道 プラットフォームの完全地上を見えるホームドア 山口 美未子 JR東日本東北支社 ホームドアシステム開発部助産
15 技術と事業⑥ 食品原料 あらゆる食品の原料に解決策を提案する 千葉 修一 三栄エフ・エフ・アイ 執行役員 安全性科学部助産	

インタビュー



自然科学研究科
博士後期課程1年(DC1)
山田 優真

本講義を受講するまで、私は企業での研究事情や求められるスキルについてあまり分かっておらず、自分のキャリアについて考える機会も少ない状態でした。このままではまずいと考えた私は、企業研究への理解とキャリアの検討のため、実際に企業の方からお話を聞くことができる本講義を聴講することにしました。

様々な企業の方がオムニバス形式で講義を行い、分野を問わず必要なスキルの概説に加えて、自社における活動の中でどのようにスキルが活かされているのかを詳しく聞くことができました。個人的に印象深かったことは、組織の使命を確立するリーダーシップを、仕事として実行することがリーダーとしての第一要件であるという内容です。リーダーシップが仕事であるという考え方は私にとって新鮮であり、今後のキャリアにおいて必須のスキルであると認識するようになりました。本講義は自分のキャリア形成を考える契機となり、身につけるべきスキルを知る良い機会だったと感じます。

受講者の声

- 分からない、知らないことをどんどん知ってアクションを起こしていくのはやはり大事だと改めて感じた。失敗をさらなる成長だと考えさらに進んで行こうと自分の自信にもなった。
- プレゼンの仕方、講師自身のキャリア、専門分野以外の道に進まれた方の柔軟な対応の仕方、企画の仕組みと難しさ、何より様々な分野の企業に触れることができてとても勉強になった。
- 興味がなかったと思っていた分野でも話を聞いてみると興味が湧いたり、自分の研究に活かせるような新たな視点を得たりとプラスになることが多かった。
- 企業のビジネスの形態や、開発から産業化までの流れなど、就職に向けて企業を調べる上でとても参考になる知識を得ることができた。
- 学生時代の中に観察力・仮設構築力を磨くことで、新たな可能性を追求し、課題解決ができる人物を目指したい。
- 「大学院の専門領域なんて人生においては小さなものだ」という言葉で、必ずしも専攻にこだわらなくてもいいという考え方に変わった。
- 海外の方と仕事をする際に学位を持っていることでいい経験ができたという話を聞き、少し博士に興味を持った。

博士のためのキャリアセミナー

本セミナーでは博士課程で学位取得後、産業界またはアカデミアで自身のキャリアを構築している先輩たちを招き、キャリア選択の事例を聞くとともにそれに至る葛藤や決断など、皆さんが最も気になる部分の情報を提供します。学位取得の過程と進路を決めたきっかけ、準備したこと、そのためのプロセスなど、調べるだけでは得られない生の声を収集する貴重な機会です。また、産業界とアカデミアの違いなど、現在の実務的な環境に関してもお話を聞くことができます。2024年度は7月頃に開催予定です。



インタビュー



自然科学研究科
博士後期課程1年(DC1)

土田 駿

博士課程での就職活動は、多岐にわたると聞きますが、身近に修了された方があまりいなく、実際にどのように行われているのかわかりませんでした。本セミナーで多くの方のお話を聞きことができ、博士課程での就職活動や就職後の業務内容について実感が湧きました。博士人材は想像以上に産業界から求められており、後輩への指導経験や論理的思考力、プレゼンテーション能力などの博士課程で培った力を仕事で活かせることがわかりました。また、企業での研究は大学とは異なり、短期的な利益が求められることや残業がしにくく計画的に進めなければならないことなど、今まで知らなかった多くのことを知ることができました。博士課程修了後の進路を決める上で、本セミナーではリアルな就職活動の経験をお聞きすることができ非常に参考になりました。修士課程や学部生の方も将来の進路選択の幅を広げることができる良い機会ですので参加をお勧めします。

先輩からのメッセージ



新潟大学大学院
自然科学研究科2019年度修了
博士(理学)
産業技術総合研究所

東海林 良太

まず初めに、私自身は博士後期課程に進学してよかったと感じております。在学中に様々な経験ができたこと、卒業後に研究の道に進めたこと、どちらも私にとって喜ばしいことです。卒業後の先行きが不透明で、「修士まではいいけれど博士はちょっと…」と思う気持ちは分らなくはありません。ですが今は博士後期課程卒業の人材の需要も高まりつつあるようで、PhDリクルート室という卒業後の就職を支援してくれる頼りになる組織もあります。博士号を取得した後の事に関しては然程心配せずともよいのではないのでしょうか。在学中に関しても、博士後期課程では明確な成果を出すことを求められますが、なにも世界を変えるような世紀の大発見を求められるわけでもありません。根気強く続ければ小さくとも成果は出せると思います。研究業務に興味があって、研究に携わって生きていきたいというのであればぜひとも博士後期課程への進学を検討してほしいと思います。



新潟大学大学院
自然科学研究科2018年度修了
博士(理学)
JX金属株式会社

角田 竜馬

私がお伝えしたいことは、どんな進路を希望するとしても、目の前にある勉強・研究に真摯に取り組み、分野を問わず活用できる知識・能力を獲得してほしいということです。私は博士課程へ進学し、修了後は大学での基礎研究とは毛色の違った研究開発に携わりたいと思い、企業への就職を希望しました。現在はJX金属株式会社で博士課程の研究テーマとは異なる分野の研究開発に従事しています。入社当時は、異分野での研究開発に対して、自分の経験が役立つ不安でした。しかしながら、大学院で培った論理的思考力等のスキル、研究に使った基礎知識は、業務の幅が広がるにつれて、活用する場面は増えています。そのため、大学院で得た知識・能力は、分野を問わず幅広い領域で役立つものと考えようになりました。大学院で研究をしている皆さんには、自分の研究テーマに積極的に取り組み、しっかりとした基礎知識と、強みとなる能力を幅広く身に着け、分野を問わずに活躍していただきたいです。

どんな場面でも使える
スキルを身に付けよう

ジェネリックスキルセミナー

課題解決や円滑なコミュニケーションに役立つ実践的な能力を身に付けるための“ジェネリックスキルセミナー”。講義形式で聞くだけでなく、演習も交えてスキルを獲得できるコンテンツです。日々の研究活動でも社会に出た後でも、成果を出すために重要な素養を高めていきましょう！

1 研究者のためのビジネスマナー 未来を切り開く自己表現 & 関係構築法

講師 A.T.PLANNING 代表取締役 高原 温子

開催 2024/6/21

インタビュー



自然科学研究科
博士後期課程1年(DC1)

岩片 愛悟

皆さんはプレゼンをしている自分の姿を見たことがありますか？私は録音した自分の声を聞くことすら嫌ですが、就職活動前に自分をどうしたら良く見せることができるのかを知りたいと思い、参加しました。

後半の演習では、前半に学んだことを参加者と一緒に実践しました。その一つで、グループで自己紹介を行い、自分の姿を動画で記録してもらいました。「立ち姿、目線、イントネーション、表情」など、今まで目を背けてきた自分の癖と向き合う貴重な機会となりました。

日頃、学会や研究室内でプレゼンをする機会は多いと思いますが、話し方についてフィードバックをもらった経験のある人は少ないのではないのでしょうか。他の参加者の皆さんも新たな気づきを得て、受講後は晴れやかな表情をしていたことが印象的です。話し方・聞き方で人の印象は大きく変わります。自分を変えたい！もっと成長したい！と思っている方は、ぜひ参加をおすすめします！

2 交渉学 戦略的交渉力:しなやかな対話力を身に付ける

講師 東京富士大学教授 隅田 浩司

開催 2024/6/4

研究者に「交渉学」は必要なのだろうか？そんな疑問を持ちながらも、興味を持ち参加しました。学部生も多く参加されていて、和やかな雰囲気でした。

セミナーでは「売る側」と「買う側」に分かれ、与えられた設定をもとに美術品の売買を行いました。私は「売る側」を演じ、交渉前に作戦を立て、目標金額を設定しました。しかし、いざ交渉が始まると相手に同情してしまい、自ら損をする交渉をしてしまいました。交渉を通じて、自分も相手の性格も浮き彫りになった気がします。多くの参加者が「美術品のセット売り」を交渉材料として考えていましたが、講師の先生は「私なら売らずに貸し出します」とおっしゃっていて、みなさんその発想はなかった！というように驚いていたことが印象的です。

「交渉」は日常生活に溢れています。日常会話にこっそりと「交渉力」を忍ばせることができれば、人生はより豊かになるのではないかと感じました。

3 プロジェクトファシリテーション 課題解決を加速する

講師 古河電気工業株式会社 BPRプロジェクトファシリテーションプロフェッショナル 関 尚弘

開催 2024/6/11

インタビュー



医歯学総合研究科
博士課程1年(DC1)

山崎 智也

正直なところ「プロジェクトファシリテーション」がどのようなものか初見では想像がついていませんでした。プロジェクトにおける話し合いを円滑に進める技法という意味を知り、これまでの話し合いの経験を振り返ると、自らがファシリテーターとなったことはあまりなかったと思いました。しかし、将来自らプロジェクトを企画し、率先して話し合いを進めていく機会は増えていくだろうという思いから本セミナーを聴講しました。

セミナーに参加してみると、グループワークの時間が多く設けられており、実際の話し合いの中でファシリテーションの技術を学ぶことができました。グループワークでは、自らがファシリテーターとなったり、話し合いの参加者として議論に加わったりすることで、様々な立場から話し合いを見つめ直すことができました。明確なゴールを設けて軌道修正をしていくことや、他人の意見を傾聴することなどは、経験上重要だと漠然と感じていましたが、実際に意識できていませんでした。本セミナーは実践の中で気づきを得る良い機会となりました。



キャリア相談 博士学生・博士進学を目指す学生

博士学生 (DC)・研究員 (PD) の就職活動は、修士 (MC) までと異なり通年行えるのが特徴のひとつです。つまり、いわゆる“就活時期”に限らず情報収集や自己分析、そしてエントリーが必要です。活動の時期や方法がバラバラなことで悩まされる DC・PD の就活を支えます。キャリア相談を活用し、研究と就活の両立を目指しましょう。

また、就活関連のみならず、博士後期課程への進学を含めた広範なキャリア形成もお手伝いしています。相談は通年行っていますので、お気軽にご相談ください。



1. 博士人材が抱える個別の状況や事情の相談を受けます
2. 獲得したスキルを活かす進路を一緒に考えます
3. 博士人材を要望している企業との接点を作ります

インタビュー



自然科学研究科
博士後期課程 2年 (DC2)

小林 那奈美

就職活動においてセミナーや授業から情報を収集することはもちろん重要ですが、博士課程を通して得た学びや能力から自分自身を見つめ直し、就職活動の軸を据えることも重要だと思います。

私は自己分析の過程で就職活動の軸を見出す事ができず、リクルート室に相談に伺いました。弥富先生に丁寧に話を聞いていただいたことで、自分の考えを言語化して整理することができました。また弥富先生の客観的で的確なコメントから自分がどんな働き方をしたいか浮かび上がってきました。就職活動が本格化してきた現在、キャリア相談を通して見つけた自分の大事な価値観は、数ある企業の中から自分に合った企業を探すための指標になっています。

リクルート室では確かな経験を培ってきた先生方が博士学生のキャリア相談に乗ってくれます。行き詰まった時は一人で考え込まずにリクルート室に相談してみることをお勧めします。

こんな相談にお答えしています！

- 修了後のイメージが漠然としていて行動できない
ご自身の価値観や現在の進路選択の理由についてヒアリングし、「どうなりたいか」を引き出すお手伝いをします。
- 博士支援の状況について具体的に知りたい
p12に掲載している支援制度のほか、民間の研究支援制度や社会・企業からの期待やニーズについてもお伝えします。
- 融合研究先を探している
具体的に希望の研究室が決まっている場合は担当教員にお繋ぎし、連携先をこれから探したい場合は過去の事例等からご紹介します。
- エントリーシートの添削をしてほしい
企業目線で評価される箇所や分かりやすい伝え方についてファイルの添削や面談でもお伝えします。

■ 相談方法

PhD リクルート室 HP の相談フォームで相談予約

【入力項目】

- 所属・専攻・学年 ● お名前 ● 研究テーマ・概要
- 相談内容選択
 - 博士後期課程への進学 ○ 支援金・奨学金
 - 就職活動・面接練習・添削 など

相談予約受領後、日程調整のご連絡をお送りします

→ 相談日に来室またはオンラインで面談



予約なし来室も可能です！
近くをお通りの際はぜひご来室ください

PhDリクルートフォーラム

博士人材と企業・研究機関とが直接交流できるマッチングイベント「PhDリクルートフォーラム」では、就職のための情報交換だけでなく、プレゼン演習を通して自己PRとなる自分の強みの認識、そしてポスター発表でご自身の研究に対するアドバイス・フィードバックを獲得できる等、スキルアップや研究活動の推進にも大きく寄与しています。準備期間・終了後のサポートも活用することで高効率な情報収集・就職活動ができ、博士課程での研究に専念する時間の確保にも繋がります。2024年度は第9回を9月9日に開催します。

1. 企業が求める博士人材や参画してほしい研究領域などを聞くことができる
2. 博士人材自身の研究テーマや研究スキル、人物像そのものをアピールすることができる
3. ブースで双方向の情報交流をすることでお互いの理解を深めることができる

この場で社風や活躍できる分野の確認、企業訪問や中長期インターンシップの実施に向けた具体的な話を進めることも可能です。

2023年度参加企業・参加博士人材

第7回 13社

旭化成 亀田製菓 三栄源エフ・エフ・アイ
産業技術総合研究所 サントリーホールディングス
住友金属鉱山 住友ファーマ
デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム
トクヤマ ナミックス 日本シイエムケイ
日本曹達 ポーラ化成工業

博士人材：18名

第8回 12社

Cuon 住友化学 高砂香料工業 TDSE
D4c プレミアム デンカ とめ研究所
日本入試センター ヘンケルジャパン
みずほ第一フィナンシャルテクノロジー
Meiji Seika ファルマ レゾナック

博士人材：20名

学生参加者の声

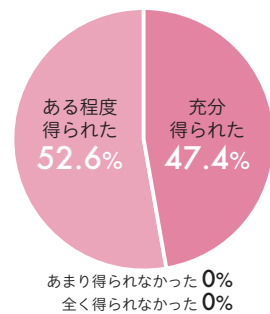
- 自分の強みはなにかを見直す機会になった。PhD取得後の可能性の広さを感じた。
- 自分の価値を企業に売り込んで、うまくマッチングすることが重要だと思った。
- ポスター発表では企業の方に研究についてアドバイスをさせていただいたので研究活動にとってもプラスだった。
- 今後企業との共同研究を目指す上で、どの企業が何の共同研究を実施しているかという動向を知ることができた。
- 学会以上に研究に興味を持ってもらえた。

企業参加者の声

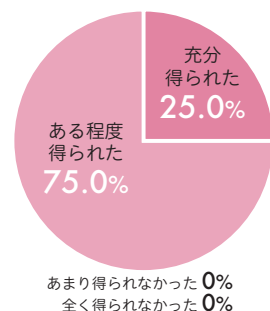
- 普段これほどの接点をもつイベントはないため、しっかりとお話でき良かった。
- ショートトークなど企業側からの発信とポスターセッションにおける学生側からの発信と、双方から発信があり充実した内容だった。個別面談や情報交換会も含めて様々な形の接点が用意されていた。
- 人事担当等の文系出身者にも分かりやすい発表を心掛けていただき、とても楽しく聞かせていただいた。
- 発表者の皆さんの説明、またご自身に関するアピール能力が高いことがよく分かった。

■アンケート
Q. 有益な情報を収集
できましたか？

学生 N = 38



企業 N = 40





自然科学研究科
博士後期課程2年(DC2)
**KANGA Clever
Nkhokwe**

It was great privilege to be part of the 7th PhD recruitment forum matching event at the Art Hotel in Niigata on August 29, 2023. As a first-timer, I must admit, I was very nervous. However, the unwavering support and encouragement from the PhD recruitment office staff made all the difference, and their kindness could put me at ease. The language use flexibility that they offered me, allowing to make my poster in Japanese and present in English because my Japanese language level is still poor was a huge relief. Additionally, prior to the event, the PhD recruitment office provided us with introductory profiles of the participating companies.

When it came time for me to present my poster, I dedicated myself to delivering my very best. I used the opportunity to showcase my research and how I could potentially contribute to these companies in the future. Representatives from various fields expressed curiosity about my work, and their encouragement was so heartwarming.

While my research may not have precisely aligned with the specific needs of every company, I received invaluable advice on refining my research and acquiring industry-specific skills.

One particular piece of advice left a lasting impression on me: “Now you are learning how to investigate problems and find suitable solutions. You also need to learn how to develop those solutions into products that people can get and use at an affordable price. To do that, you need to learn how to develop the product cost-effectively and then how to market it. Then, you will become the Science entrepreneur that the industry and world need today.” This guidance has inspired me to broaden my skills and knowledge in these critical areas, recognizing the importance of translating research findings into tangible solutions that can benefit society.

Some other HR personnel also provided positive feedback, commending my friendly and easygoing personality. Their comments reinforced the importance of interpersonal skills in the professional world, emphasizing the value of effective communication and collaboration in achieving organizational goals.

As I continue my journey towards research collaboration and partnership with a company that aligns with my vision, I remain committed to participating in future events until the perfect match is found. This experience has instilled in me a renewed sense of hope and determination to pursue my dreams, recognizing that the path to success is paved with continuous learning, adaptation, and resilience.



現代社会文化研究科
博士後期課程3年(DC3)
貝沼 良風

このイベントに参加することは、キャリアとしての企業への就職を知る機会として、自分の研究を他分野の方々に伝える機会として有用なものでした。

私の専門分野は人文系であるため、企業が求める人材ではないのでは、と最初は考えていましたが、参加していた企業には、物理学や数学の知識・技術を求めるだけでなく、論理的な思考力や問題解決力といった、人文系・自然系を問わずに博士学生が身につけている力を求める方々もいらっしゃいました。こうした企業が博士学生に求めるものが理解できるという点だけでも、このイベントに参加する価値はあると思います。

さらに、このイベントでは、自身の研究に触れたことがない企業の担当者が多数参加していました。そのため、ポスターの作成や、当日の研究内容の紹介では、専門外の方々にも分かりやすいようにすることを心がけました。その結果、自分の研究を平易な言葉で表現して整理することとなり、研究そのものを整理し、前進させることにつながりました。



06

実践

企業・研究機関で実際に働く
イメージを手に入れよう

企業研究サイトビジット

マッチングイベント等でお目当ての、あるいは思わぬ企業から勧誘や研究所見学などの申し出を頂いた場合、その機会を逃す手はありません。見学だけでなく自身の研究内容などのプレゼンも可能な場合があります。直接企業を訪問すると、実際に勤務している多くの研究者や先輩方と話すことが可能です。企業研究サイトビジットを経て、インターンシップや採用につながった実績もあります。

1. 企業を直接訪問して業務の現場を見ることで働くイメージを獲得できる
2. 企業人への直接の研究プレゼンで自身の知識や研究能力を確認できる
3. 双方向の情報交流をすることでお互いの理解を深められる

〈実施実績〉 2022年度 / 1件3名 (11月) 2023年度 / 1件1名 (10月)



過去の訪問の様子や
参加者の感想は
当室ホームページより
ご覧いただけます！



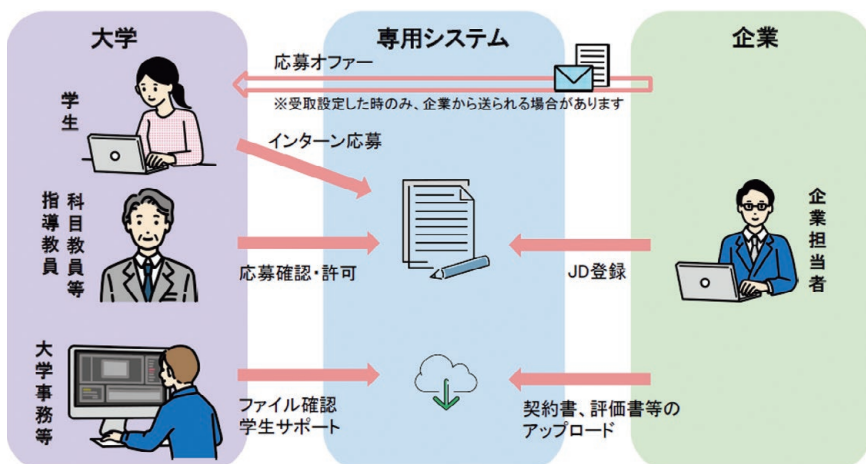
07

実践

企業・研究機関で実際に働く
イメージを手に入れよう

ジョブ型研究インターンシップ・インターンシップ

産業界のグローバル化に伴い、研究職などの採用がジョブ型へ徐々に移行しつつあることはご存じでしょうか。ジョブ型研究インターンシップは企業活動を体験することで企業の実態を知り、その企業での働き方などを確認するためにも非常に有効な方法です。企業視点からも、優秀な博士人材に実際の業務を担当してもらうことで、その人物像、研究スキル、知識レベルなどを評価することができます。企業の現場に参加し、**研究の出口**、**納期**、**コスト**の意識といった企業の考え方を学び、自身が社会で活躍するイメージを手に入れましょう。



ジョブ型研究インターンシップの 参加・実施の流れ

1. 専用システムへアカウント登録
2. 共通説明会へ参加
3. 各企業の職務内容を確認・プロフィール作成・応募
4. 企業選考・マッチング
5. インターンシップ参加
6. 面談・評価書受領
7. 学内報告会
8. 単位取得

**インターンシップに関するご質問は
PhDリクルート室へご相談ください！**

出典：ジョブ型研究インターンシップ推進協議会資料

博士人材のキャリア形成や研究支援のために大学間でプログラムや知見を共有し相互に支援する「博士人材育成コンソーシアム」に、新潟大学も参加しています。現在は北海道大学・東北大学・名古屋大学・新潟大学・筑波大学・お茶の水女子大・東京外国語大学・横浜国立大学・立命館大学・大阪大学・神戸大学・兵庫県立大学・沖縄科学技術大学（OIST）の13大学で構成されており、各大学のイベント等に新潟大学の学生は参加することができます。各プログラムの案内は博士ポータルや学務情報システムを通じてお知らせしていますので、ぜひ活用してください。

インタビュー



自然科学研究科
博士後期課程2年(DC2)

**Batmunkh
Jargalmaa**

The PhD Recruitment Office recommends a variety of valuable seminars for graduate students navigating the important decision of determining their career path after graduation. One such seminar, oriented at international students, is 'Building Academic Career in Japan for International Students', which proves particularly helpful for those with limited proficiency in Japanese.

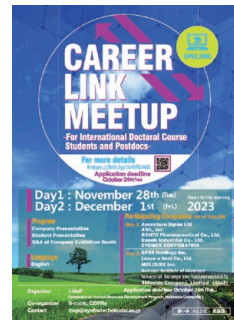
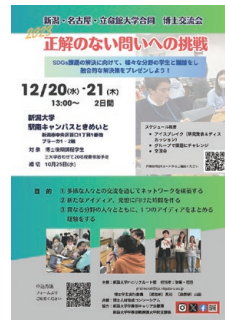
Currently, I am more interested in the academic path than in working in the industry, so the topic aligned well with my interest.

The seminar covered a comprehensive procedure for academic positions at different stages and various roles. While it outlined basic requirements, such as Japanese language proficiency, it's important to note that specifics may vary depending on the organization or institute.

Beyond giving general process and job-hunting information, the seminar also shared powerful messages and offered impactful suggestions for preparing oneself to become a successful and competent researcher in the field.

Attending this seminar provided me with solid insights into an academic research career in Japan. I highly recommend the seminar to those experiencing confusion about their career direction or anyone curious about exploring a path as a researcher in academia.

2023年度実施共有プログラム（一部抜粋）



mini
column

新大博士のための 総合サイト！ 「博士ポータル」

博士学生に必要な情報をジャンルごとに整理して公開しています。キャリアアップのためのセミナー情報だけでなく、メンターへの相談申込、オンライン交流のためのメタバース (oVice) へのアクセス、院生会情報、博士 ToDo もこちらから！
(<https://portal.phd.niigata-u.ac.jp/>)



近年、日本では科学技術・イノベーションの将来を担う優秀な志ある博士後期課程学生への経済的支援を強化し、博士人材が幅広く活躍するための多様なキャリアパスの整備を進める動きが高まってきました。

新潟大学は、2021年度よりJST「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロースHIP創設事業」および「次世代研究者挑戦的研究プログラム ～博士後期課程学生の挑戦を支援する～（SPRING制度）」の実施機関として採択され、延べ120名の博士学生を採択・支援してきました。これらの支援制度では、生活費相当額の支給及び研究費の支給、メンターによる研究環境支援及びアカデミア・産業界へのキャリア形成に関する助言や提言、そして当室によるキャリアコンテンツの提供等が行われています。

これらの支援制度を引き継ぎ、2024年度からはJSTが実施する新しいSPRING制度に移行し、博士学生への皆様への支援とコンテンツの提供を引き続き行ってまいります。

2021年度～2023年度

新潟大学フェロースHIP支援事業（科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロースHIP創設事業） 未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト（SPRING）

● 論文投稿・海外渡航支援

論文掲載の採択決定を受けた国際学術誌等の論文投稿や海外短期留学のために渡航する方に対して、経済的な補助を行ってきました。

● 年度末シンポジウム

学生が支援によって獲得したスキルや研究についての成果報告や、新潟大学がデザインする「博士」の姿と社会での重要性について共有と議論を行いました。

● 未来健康科学研究交流会

各研究分野の学生同士で「研究から見る未来健康科学」をテーマに議論を行う研究交流会です。分野を融合した活発な研究交流を行い、自身の研究から繋がる未来について理解を深めました。

● 若手データサイエンティストコロキウム

フェロースHIP生が企画・運営を行う、データサイエンスに関する講演や学生ポスター発表を行うコロキウムです。過去3回開催し、招待講演の講師や学生との研究交流を実施しました。

● マルチラボシステム（学内短期留学）

学内の他研究室で研究を行い、分野横断・融合・挑戦的研究等を促進する制度です。自身の専門分野から異分野への応用視点獲得をサポートしました。



2024年度～

未来社会を牽引するグローバルな総合知を備えたフロントランナー育成プロジェクト（新SPRING）



2023年度までの支援内容を引き継ぎ、新制度へ移行！

- 国際力・産学連携力の強化
- 若手向けキャリアパスの確保
- 在学中の企業・大学発ベンチャー輩出
- データサイエンスに関する知見や技術の習得

公募についての詳細や
申請スケジュールは
当室 HPや学内通知にて
随時ご確認ください

博士課程これをやっておこう！ToDoリスト

進学後のこと、研究以外の生活、情報がほしいけど分からなくて不安…。そんな悩みを解消するために、博士学生の実験に基づいた「博士ToDo」を博士ポータルで確認できます！

博士ToDoは
博士ポータルにて
随時更新中



✓ 奨学金情報をチェック！

新潟大学HPや自然研高度化センターHPなどの情報がまとめられています。奨学金情報を手に入れるの方法を知り、経済的な不安から脱却しましょう！

✓ Reserchmapへの登録

学生であり、一人前の研究者でもあるのが博士課程学生。経歴や論文リスト、プロフィールを掲載し、研究活動を社会に知ってもらいましょう！

✓ 名刺の作成

学会参加や企業の方と共同研究をすすめる機会が生じたとき、スムーズに紹介や連絡先交換ができます。相手の情報をゲットする機会にも繋がります！
名刺交換の仕方は、ぜひ当室「研究者のビジネスマナー」にて学んでいきましょう

✓ 出張・留学先でも使えるWi-Fi(Eduroam)の申請

研究のフィールドは日本・世界と広がっていきます。本学情報基盤センターにて登録後使用可能！

博士学生のキャリアパス形成を
PhDリクルート室+メンター教員がサポート！



PhDリサーチサポート室



PhDリクルート室
phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp

相談
協力



相談



博士学生

- Q. 異分野融合研究の方法
- Q. キャリアプランの例
- Q. 研究と就職活動の両立 ...etc.

メンター教員

現代社会文化研究科



自然科学研究科



医歯学総合
研究科



保健学
研究科



mini
column

24時間365日オープン！

オンライン学生交流のための
メタバース(oVice)設置

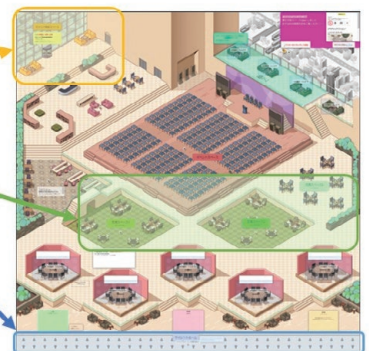
博士学生の悩みのひとつ「周囲に同期や先輩がいない…」「相談や話ができる相手が欲しい」を、オンライン交流で解決しましょう！oVice内ではキャンパスや研究室の違いに関わらず、雑談からイベント開催、ゼミ利用、集中スペースでの研究没頭も可能です。

キャリア相談・メンター相談の予約
→ **キャリア相談スペース** へ

お喋りがしたい！
→ **交流スペース** へ

集中したい！
→ **サイレントルーム** へ
ちよつと休憩～

クローズドな会話なら…
大人数 → 大会議室
少人数 → 小会議室



博士交流会

研究科・研究室・キャンパスを越え、分野融合・学際研究等よりよい研究生生活に繋がるといえる博士学生のための交流会を学生主催で実施しました。同じ大学の博士学生でありながら普段出会えない仲間と知り合い交流することができ、2023年度に実施した際は44名もの博士学生が参加しました。2024年度は8月頃に実施予定です。



インタビュー



現代社会文化研究科
博士後期課程2年(DC2)
栗林 稜

普段関わることのできない他分野の研究者と交流ができる、とても有意義な会でした。

私は普段、人の出入りが少ない薄暗い研究室で作業していることが多く、あまり他人と関わる機会がありません。研究室は物静かで集中のできる最適な空間ではありますが、こと人間関係においては、閉鎖的でなんら刺激のない毎日を過ごしています。そんなとき博士交流会の案内が届き、博士課程の方との交流を求めこの会に参加しました。

立食形式で行われた今年の交流会では、事前アンケートに基づいて作成していただいた名刺の交換から始まり、名刺に書かれているプロフィールや趣味、PRなどから会話を広げることができました。交流会を通じて他分野の知識やアイデアがいかに刺激的であるか実感しましたし、研究において新たな視点を得られる良い機会でもありました。

研究者という同じ志や目標を持つ仲間たちとの交流が、今後の研究生生活においても励みになりそうです。



医歯学総合研究科
博士課程2年(DC2)

KIN LAY MON

私は先輩の誘いもあり博士交流会に興味を持ち参加してきました。

現地は五十嵐キャンパスの方だったため、旭町から参加者たちのために、交通バスを出してくれました。他の博士課程の仲間たちと、大学院や専門分野に入った理由、研究と私生活をいかに両立させているか、などについて話せました。日本人学生はもちろん、ミャンマー出身の私を含め世界の様々な地域の留学生達もいました。バックグラウンドが違う人々と、英語と日本語の両方でそれぞれの文化や留学経験を共有したりもしました。またPhDリクルート室が食事や、参加者一人ひとりの名刺を用意してくれたおかげで、空腹を満ちし、安心して参加できただけでなく、名刺を通して出会った人たちとの思い出を残すことができました。

博士課程生活ではめったにない良いイベントですので、とても楽しかったです。今後もこのような機会があれば、ぜひ参加したいです。

Since the party had been taken place at the Ikarashi campus, a transportation bus was provided for the participants from the Asahimachi. I was able to talk with other fellow PhD students about my field of study, why I joined academia, and how I manage to balance my research and personal life, in exchange with theirs. There were Japanese students as well as Namibian, Peruvian, Brazilian, Turkish, Korean, Chinese, and Russian international students, including myself from Myanmar. We were able to share our respective culture and study abroad experiences. Despite of our different culture and native languages, we were able to communicate in both English and Japanese which improved our language skills. Thanks to the buffet and the business cards provided by the Recruitment Office for each participant, we were not only able to satisfy our hunger and feel at ease, but also we were also able to preserve memories of the people we met through our business cards.

It was a good event, which is rare in the life of a PhD student. So, I enjoyed it very much and would definitely participate again in the future when such opportunities occur next time.



新潟大学院生会

大学院生が主体となって運営する「新潟大学院生会」。大学院生相互の理解と研究交流を深め、研究、生活等の向上を図ると共に、学問研究の発展の推進力となることを目的として活動しています。PhDリクルート室は院生会の皆様と連携し、大学院生の充実したキャンパスライフに向けた支援を行っています。「院生会」という名ですが、進学の情報を知りたい学部生の皆様のイベント参加もお待ちしております！ ※入会は大学院生のみ



新潟大学院生会

Niigata Univ. Graduate Students Community "Inseikai"

院生会員+運営メンバー通年募集中！



2021年~活動、会員数は80人超！



ほぼ毎月イベント開催！



対面イベントで新たな出会いが！



キャンパスを越えていつでも交流



とにかく楽しくやる！

1 気軽におしゃべり！

大学院生の「仲間が欲しい！直接お喋りできる機会が欲しい！」という声にお応えした交流会です。少人数のグループで自由にお喋りを楽しみます。研究の息抜きにぴったりです！



2 本と出会える「ビブリオナイト」

小説、専門書、参考書など、ジャンルを問わずおすすめの本を紹介し合います！

〈過去のテーマ〉

- ・心が動かされた本
- ・研究に役立つ本



3 ソフトウェア体験会

「便利そうなソフトを使ってみたくけど、何から始めたらいいの？」とお悩みの方におすすめな、ツールの基本操作や使い方を伝授しあうイベントです！実際に研究で使用している大学院生がサポートしてくれます。

〈過去の題材〉

- ・MATLAB
- ・Notion



4 研究発表会

2023年の開催テーマは「新たな知識の扉を叩こう」。

文系・理系を問わず、研究を今している人もこれから始める人も、自分の「知っていること」に+αできるように発表会を開催しました。



5 他にも様々なイベントを開催！

院生会主催のその他のイベント詳細は公式HPをご参照ください！

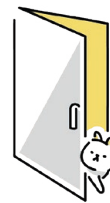
月に1回を目安に開催するイベントだけでなく、オンラインツールを用いた朝活や有志のランニング部で運動&マラソン大会参加など、日常的に自由な学生交流を行っています。

イベントへの参加・入会を心よりお待ちしております！

HPはこちらから！



入会はこちらから！
(大学院生のみ)



■ 授業科目

【前期課程:課程共通科目】

No.	科目名	内容	単位	Gコード開講番号
1	修士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	2	240F5301
2	修士のためのアカデミックライティング	アカデミックライティング	2	240F2302

【後期課程:課程共通科目】

No.	科目名	内容	単位	Gコード開講番号
1	博士のためのキャリアマネジメントセミナー	キャリアマネジメントセミナー	2	240F5321
2	博士のキャリア開発の実践	PhD リクルートフォーラム	1	240F5322
		ジェネリックスキルセミナー		
		博士のためのキャリアセミナー		
		企業研究サイトビジット		
3	博士ジョブ型研究インターンシップ	インターンシップ (1ヶ月以上)	2	240F5323
4	博士のためのアカデミックライティング	アカデミックライティング	2	240F5324

※詳細はシラバスをご覧ください。

■ 2024年実施プログラム(予定)

○履修対象 ×履修対象外 △聴講可(単位取得不可)
☆単位取得要件についてはシラバスを参照

プログラム名	BC	MC	DC	PD
キャリアマネジメントセミナー	△	○	○	○
ジェネリックスキルセミナー	△	△	○	○
博士のためのキャリアセミナー	△	△	○	○
大学院生のためのアカデミックライティング	×	○	○	○
PhD リクルートフォーラム	×	×	○	○
企業研究サイトビジット	×	×	○	○
博士ジョブ型研究インターンシップ	×	×	○	○
博士ジョブ型研究インターンシップ体験報告会	△	△	△	△

※日程等の詳細はホームページでご確認ください。 <https://www.phd.niigata-u.ac.jp/>

スタッフ



PhDリクルート室長
副学長・自然科学系教授

本田 明治



担当教員 PhDリクルート室副室長
特任教授

弥富 洋子



担当教員 PhDリクルート室
特任助教

石田 悠貴



担当教員 PhDリクルート室
特任助教

當銘 香也乃



事務スタッフ

田村 杏奈



事務スタッフ

田中 景子



PhDリサーチサポート室長
人文社会科学系准教授

村山 敏夫



協力教員
医学系教授

寺尾 豊



協力教員
自然科学系教授

飯島 淳彦



協力教員 大学院自然科学研究科附属
教育研究高度化センター

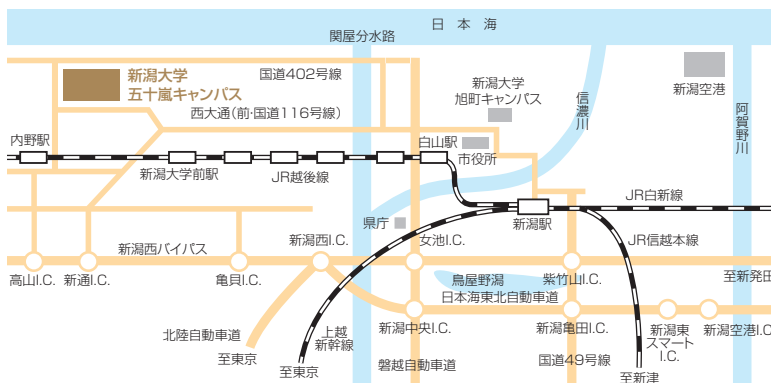
永井 直人



協力教員
自然科学系准教授

大橋 慎太郎

アクセス



■ 列車利用(JR越後線)

新潟駅～内野駅(所要時間25分)下車 徒歩で約15分
新潟駅～新潟大学前駅(所要時間22分)下車 徒歩で約20分

■ バス利用(新潟交通)

新潟駅～新潟大学西門(所要時間約45分)

連絡先

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 新潟大学 総合教育研究棟 D204
TEL : 025-262-7217 (内線7217) FAX : 025-262-7217
E-mail : phdrecruit@gs.niigata-u.ac.jp URL : www.phd.niigata-u.ac.jp



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。